Ⅲ　平城宮跡等の調査概要

表28　2015・2016年度　都城発掘調査部（平城地区）発掘調査一覧

調査次数	調査地区	遺　跡	調査期間	面　積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
（2015年度）								
552次	6AGF-G・H	平城京右京三条一坊一・二坪・朱雀大路	2015.12.16～2016.3.30	796㎡	奈良市二条大路南	丹羽崇史	史跡整備	190
561次	6ABR-F 6ABQ-G	平城宮第一次大極殿院西面回廊	2015.12.14～2016.2.16	255㎡	奈良市佐紀町	神野　恵 林　正憲	史跡整備	186
563次	6AFF-D・E	平城京左京二条二坊十一坪	2016.1.12～2016.3.31	330㎡	奈良市法華寺町	浦　蓉子	住宅建設	232
（2016年度）								
565次	6AGC-I 6AGA-B	平城京右京一条二坊四坪・西一坊大路・一条南大路	2016.3.22～2016.5.16	360㎡	奈良市二条町	小田裕樹	学術調査	248
566次	6AGF-I	平城京右京三条一坊一・八坪・朱雀大路・二条大路	2016.3.8～2016.7.25	684㎡	奈良市二条大路南	番　光	史跡整備	190
567次	6BKF-J	興福寺境内	2016.5.25～2016.7.20	144㎡	奈良市登大路町	桑田訓也	防災工事	252
568次	6AFB-Q・P	平城京左京一条二坊十六坪、木取山古墳	2016.4.６～2016.4.12	32㎡	奈良市法華寺町	芝康次郎	住宅建設	258
569次	6ABA-E	平城宮推定大膳職地区北方	2016.4.18～2016.4.20	12㎡	奈良市佐紀町	芝康次郎	住宅建設	184
570次	6AFC-F	平城京左京一条二坊九坪	2016.5.23～2016.5.24	1.5㎡	奈良市法華寺町	芝康次郎	住宅建設	184
571次	6AFF-E	平城京左京二条二坊十一坪	2016.5.16～2016.6.21	84㎡	奈良市法華寺町	国武貞克	住宅建設	232
572次	6AGF-O	平城京右京三条一坊十坪	2016.6.24～2016.7.26	117㎡	奈良市二条大路南	国武貞克	店舗建設	260
573次	6BKF-L・M	興福寺境内	2016.6.22～2016.7.5	108㎡	奈良市登大路町	馬場　基	史跡整備	184
574次	6BTG-J・K	東大寺東塔院跡	2016.7.19～2016.12.15	882㎡	奈良市雑司町	山本祥隆	学術調査	262
575次	6BFK-I	法華寺旧境内	2016.8.1～2016.8.25	30㎡	奈良市法華寺町	国武貞克	住宅建設	266
576次	6ABL-C	平城京二条大路東一坊域	2016.10.12～2016.11.30	230㎡	奈良市二条大路南	浦　蓉子	史跡整備	270
577次	6AGF-F	平城京右京三条一坊二坪・朱雀大路	2016.12.2～2017.1.31	120㎡	奈良市二条大路南	庄田慎矢	史跡整備	190
578次	6ABY-K 6AGF-I	平城京朱雀大路・二条大路	2016.11.14～2017.1.19	324㎡	奈良市二条大路南	浦　蓉子	史跡整備	190
579次	6ABA-F	平城宮内裏官衙地区北方	2016.10.27～2016.11.7	36㎡	奈良市佐紀町	丹羽崇史	住宅建設	188
580次	6AFJ-F	平城京左京三条一坊十坪	2016.11.28～2016.12.9	21㎡	奈良市二条大路南	岩戸晶子	住宅建設	278
581次	6AFF-C	平城京左京二条二坊十一坪	2017.1.16～2017.1.20	21㎡	奈良市法華寺町	鈴木智大	住宅建設	184
582次	6BFO-E	平城京左京一条二坊十坪	2017.2.13～2017.3.3	100㎡	奈良市法華寺町	鈴木智大	住宅建設	184
583次	6AFC-G	平城京左京一条二坊十坪	2017.1.30～2017.2.15	39㎡	奈良市法華寺町	鈴木智大	住宅建設	184
584次	6ALR-G 6ALQ-H	平城宮東院地区	2017.2.6～2017.5.29	986㎡	奈良市法華寺町	庄田慎矢 山藤正敏	学術調査	184
総括：副部長　渡辺　晃宏			写真担当：企画調整部写真室					

表29　2016年度　都城発掘調査部（平城地区）小規模調査等の概要

調査次数	遺　跡	調　査　の　概　要
569次	平城宮推定大膳職地区北方	個人住宅建設にともなう事前調査。東西４m、南北３mの調査区を設定した。現地表下約50㎝（H＝75.2m）で遺構面と考えられる褐色粘質土を確認し、同約70㎝（H＝75.0m）で地山とみられる明黄褐色砂質土を確認した。古代以降の土坑２基を検出したが、遺物はほとんど出土していない。
570次	平城京左京一条二坊九坪	個人住宅建設にともなう調査。東西1.5m、南北１mの調査区を設定した。旧表土下に地山と考えられる灰黄色粘土を確認した（H＝73.5m）。遺構や遺物は確認されなかった。
573次	興福寺境内	興福寺北円堂院回廊整備事業の遺構の保全状況を確認するための調査。整備工事が施工された北円堂院回廊周囲に7カ所と、北円堂院回廊南面に調査区を設定した。北円堂回廊南側は、砂利・表土・焼土(約５㎝)直下の地山面（H＝94.8～94.9m）で遺構検出をおこなった。
581次	平城京左京二条二坊十一坪	集合住宅建設にともなう事前調査である。東西３m、南北７mの調査区を設定した。現地表下1.7～1.9m、標高59.9～60.1mの整地土および地山上面において遺構検出をおこない、奈良時代の重複する柱穴などを検出した。詳細は『紀要 2018』で報告予定である。
582次	平城京左京一条二坊十坪	分譲住宅開発にともなう事前調査である。東西６m、南北16m、東方突出部東西２m、南北２mの計100㎡の調査区を設定した。現地表下約0.5m、標高70.4mの整地土および地山上面において遺構検出をおこない、中世以降の土坑、奈良時代の柱穴や土坑、平城京造営期に埋め立てられたと考えられる東西溝状の落込みを検出した。詳細は『紀要 2018』で報告予定である。
583次	平城京左京一条二坊十坪	個人住宅建設にともなう事前調査である。東西３m、南北13mの調査区を設定した。現地表下約0.6m、標高約72.2mの整地土上面において遺構検出をおこなった。奈良時代の東西溝や土坑などを検出し、遺構や整地土から冶金に関連する遺物が多く出土した。詳細は『紀要 2018』で報告予定である。
584次	平城宮東院地区	平城第481次調査区の東側、第503次調査区の北側に重複させて東西29m、南北38mの調査区を設定した。新規発掘部分の面積は986㎡である。現地表面下約20㎝で地山あるいは整地土上の遺構面を確認し、奈良時代の複数時期にわたる掘立柱建物、掘立柱塀、石組溝、石列などの遺構を検出した。詳細は『紀要 2018』で報告予定である。

表30　2016年度　都城発掘調査部（平城地区）現場班編制　※総担当者

春	夏	秋	冬
芝　康次郎（考古第一）	国武　貞克（考古第一）	※浦　蓉子（考古第一）	※庄田　慎矢（考古第一）
小田　裕樹（考古第二）	神野　恵（考古第二）	丹羽　崇史（考古第二）	馬場　基（史　料）
林　正憲（考古第三）	※山本　祥隆（史　料）	今井　晃樹（考古第三）	鈴木　智大（遺　構）
桑田　訓也（史　料）		岩戸　晶子（考古第三）	
※番　光（遺　構）		海野　聡（遺　構）	
山藤　正敏（考古第二：研修）		高田　祐一（企画調整部：研修）	
統括：副部長　渡辺　晃宏		写真担当：企画調整部写真室	